

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	レース・T800	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：レース・T800**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番

**比較対照ボール：レース・C300**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

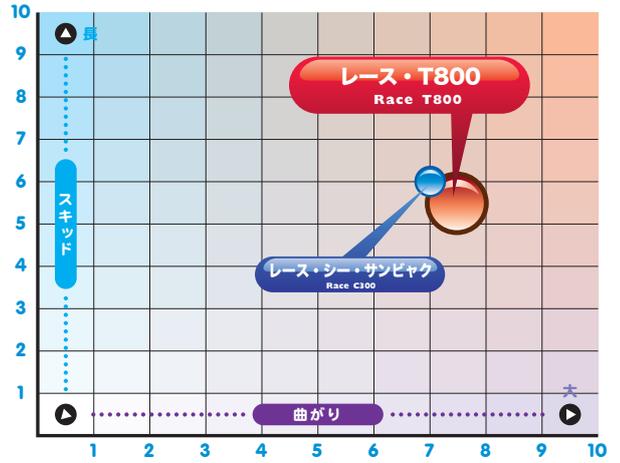
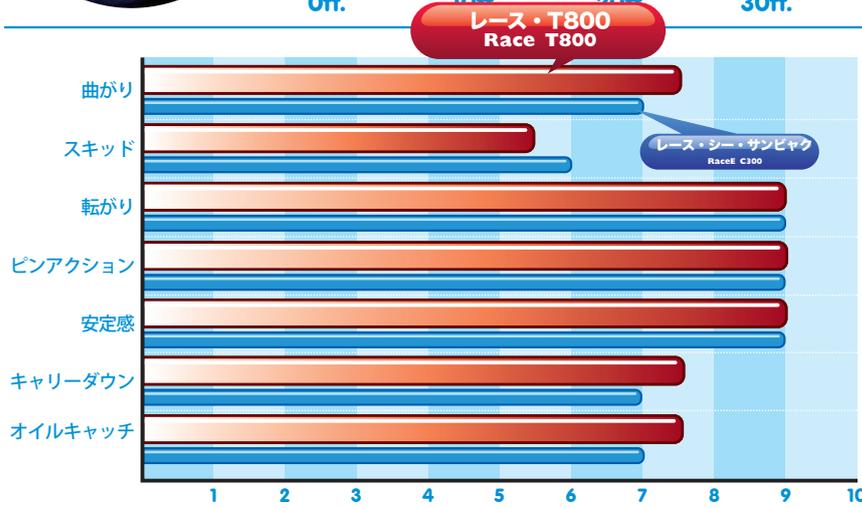
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

今年のジャパンオープンでもプロスタッフをはじめ多くの方がRACE C300を持ち込み、後半のコンディションに相対しているのを目の当たりにしたとき、コロンビア社から中盤から後半勝負できるボールを輩出できたことは至福の時でした。

ABSはRACE C300をかわぎりに、Pro-amのRACE P1000そして今回のRACE T800を踏まえ、ミディアムライトクラス最高峰を目指したコンセプトを打ち出しています。このRACE T800もコアからカバーまで吟味に吟味を重ねてリリース致します。

まずコアテクノロジーには上下に特殊ウエイトブロックを搭載した新開発のPentagon Dual Block Core。

カバーストックにはパラドックス・ブラックやライジング・リポートにも使用したSSF 82Hybridリアクティブを搭載しています。

特筆すべき点はミディアムクラスで贅沢にパラドックス・ブラックやライジング・リポートと同じカバーを搭載し、ミッドからキャッチを伴う安定感を出すところに重きをおいていることです。RACE C300もさることながらSAVAGEのカバーストックのPearlバージョンのExciter Pearl。RACE T800もハイパフォーマンスで使われるカバーの表面仕上げを調整して、RACEシリーズは掛け値なしの素材の良さが勝負することもひとえに皆様にも最高峰のパフォーマンスを味わって頂きたいことにつきます。

RACE C300と投げ比べると各々の素材の差もさることながらHybrid、Pearlの差も感じることができます。

RACE C300はスキッドを重視して柔らかくキレ込むイメージがあるのに対し、RACE T800はミッドで軌道安定のためのグリップ感が入り、そこからしっかり軸移動した曲がりを感じることができます。SSF 82Hybridカバーは”Super Soft Flexible”という低架橋密度というピンキャリーを向上させる素材でできており、他社製品と比較したときに飛びの良さを感じて頂けると思います。ミディアムクラスでもピンキャリーの良いボールは是非持っておきたいもの。それがTRACK社RACE T800です。

### 特記事項

**このクラスでは最高峰のSSFカバーを搭載した贅沢なつくり。コントロール性が高く、ピンキャリーまで拘った逸品です。**